

★★★初めから解ける数学Ⅱ・B★★★
 補充問題 (additional questions)

補充問題 1	漸化式と数学的帰納法	CHECK 1	CHECK 2	CHECK 3
--------	------------	---------	---------	---------

数列 $\{a_n\}$ が次の漸化式で定義されている。

$$a_1 = \frac{1}{2}, \quad a_{n+1} = \frac{a_n}{2^{n+1}a_n + 4} \quad \cdots \cdots \textcircled{1} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

(1) $a_n > 0 \quad \cdots \cdots (*) \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$ が成り立つことを、数学的帰納法により証明せよ。

(2) $b_n = \frac{1}{a_n} \quad \cdots \cdots \textcircled{2} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$ において、 b_n の漸化式を求めよ。

(3) 数列 $\{b_n\}$ の一般項 b_n を求め、次に数列 $\{a_n\}$ の一般項 a_n を求めよ。

ヒント! (1) 簡単な証明だね。まず、(i) $a_1 > 0$ を示し、(ii) $a_k > 0$ と仮定して $a_{k+1} > 0$ を示せばいい。(2)(*) より、 $a_n > 0 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$ なので、①の両辺の逆数をとって、 $b_n = \frac{1}{a_n}, \quad b_{n+1} = \frac{1}{a_{n+1}}$ において、 b_n の漸化式を作るんだね。(3) b_n の漸化式を、等比関数列型漸化式： $F(n+1) = r \cdot F(n)$ の形にもち込んで、一般項 b_n を求めよう。後はこの逆数が、一般項 a_n になるんだね。頑張ろう!

解答&解説

(1) $a_n > 0 \quad \cdots \cdots (*) \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$ が成り立つことを、数学的帰納法により証明する。

(i) $n = 1$ のとき、 $a_1 = \frac{1}{2} > 0$ となって、(*) をみताす。

(ii) $n = k \quad (k = 1, 2, 3, \dots)$ のとき、 $a_k > 0$ と仮定すると、 $2^{k+1} > 0$ より、①の n を k に置き換えると、

$$a_{k+1} = \frac{a_k}{2^{k+1}a_k + 4} > 0 \quad \therefore a_{k+1} > 0 \text{ をみताす。}$$

以上 (i), (ii) より、数学的帰納法により、(*) は成り立つ。……(終)

問題 147(3)(P206) の b_n についても、 $b_n > 0 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$ を同様に証明できる。自分でやってみてごらん!

(2) $a_n > 0 \quad \cdots \cdots (*) \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$ より、①の両辺の逆数をとって、

$$\frac{1}{\underbrace{a_{n+1}}_{b_{n+1}}} = \frac{2^{n+1} \cdot a_n + 4}{a_n} = 2^{n+1} + 4 \cdot \frac{1}{\underbrace{a_n}_{b_n}} \quad \cdots \cdots \textcircled{2} \quad \leftarrow \begin{array}{l} a_n > 0, a_{n+1} > 0 \text{ より、分母が} \\ 0 \text{ になることはないからね。} \end{array}$$

ここで、 $b_n = \frac{1}{a_n}$ とおくと、 $b_{n+1} = \frac{1}{a_{n+1}}$ より、

②は、 $b_{n+1} = 4b_n + 2^{n+1} \dots\dots ③$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) となる。

また、 $b_1 = \frac{1}{a_1} = \frac{1}{\frac{1}{2}} = 2$ より、 $\{b_n\}$ の漸化式は、 $b_{n+1} = 4b_n + 2^{n+1} \dots\dots ③$

$b_1 = 2$ 、 $b_{n+1} = 4b_n + 2 \cdot 2^n \dots\dots ③$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) となる。……(答)

②を解くためには、 $b_{n+1} + \alpha \cdot 2^{n+1} = 4(b_n + \alpha \cdot 2^n)$ [$F(n+1) = 4 \cdot F(n)$] を
 みたす定数 α の値を求めればいんだね。

(3) ③を变形して、 $b_{n+1} + \alpha \cdot 2^{n+1} = 4(b_n + \alpha \cdot 2^n) \dots\dots ④$ となるものとする。

④より、 $b_{n+1} = 4b_n + \underbrace{4\alpha \cdot 2^n - \alpha \cdot 2^{n+1}}_{(4\alpha - 2\alpha)2^n = 2\alpha \cdot 2^n} = 4b_n + \underbrace{2\alpha \cdot 2^n}_{2 \text{ (③と比較して)}} \dots\dots ④'$ となる。

③と④'の右辺の 2^n の係数を比較して、 $2\alpha = 2 \therefore \alpha = 1 \dots\dots ⑤$

⑤を④に代入して、

$b_{n+1} + 2^{n+1} = 4(b_n + 2^n)$ より、 $b_{n+1} + 1 \cdot 2^{n+1} = 4(b_n + 1 \cdot 2^n)$

[$F(n+1) = 4 F(n)$]

$b_n + 2^n = (b_1 + 2^1) \cdot 4^{n-1}$ アッ! という間

[$F(n) = F(1) \cdot 4^{n-1}$]

ここで、 $b_1 = 2$ より、 $b_n + 2^n = \underbrace{4 \cdot 4^{n-1}}_{4^n}$

\therefore 求める数列 $\{b_n\}$ の一般項は、

$b_n = 4^n - 2^n \dots\dots ⑥$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) である。……(答)

$b_n = \frac{1}{a_n}$ より、 $a_n = \frac{1}{b_n}$ である。よって⑥から、数列 $\{a_n\}$ の一般項 a_n は、

$a_n = \frac{1}{b_n} = \frac{1}{4^n - 2^n}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) である。……(答)